

【 診療科:血液腫瘍内科 】
【 レジメン登録番号:IG-115 】

〈 Pola-R-CHP療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)												
			1	2	3	4	5	6	7	8		15		21	
リツキシマブ	375mg/m ²	div	○												
ドキシソルビシン	50mg/m ²	div		○											
エンドキサン	750mg/m ²	div		○											
ポライビー	1.8mg/kg	div		○											
プレドニン	100mg/body	p.o	○	○	○	○	○								

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 6 コース】

【適応癌種: びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

< day1 >

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソル・コーテフ100mg 1V	div(全開)
	生理食塩液 50mL	
Rp.2	リツキシマブBS 375mg/m ² 備考1	div(添付文書参考に)
	生理食塩液 500mL	

< day2 >

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ RB 1A	div(全開で)
	生理食塩液 50mL	
Rp.2	ドキシソビシン 50mg/m ²	div(30分かけて)
	5%Glu 100mL	
Rp.3	エンドキサン 750mg/m ²	div(2時間かけて)
	生理食塩液 500mL	
Rp.4	ポライビー 1.8mg/kg	div(90分かけて、忍容性あれば30分に短縮可)
	注射用水 20mL 備考2	
	生理食塩液 100mL 備考3	

】

【参考文献:N Engl J Med 2022;386:351-63、ポライビー点滴静注添付文書】

【備考1: 生食の量を調節し、概ね10倍希釈をなすようにする。】

【備考2: 30mg製剤は注射用水1.8mLで、140mg製剤は注射用水7.2mLで溶解し、濃度を20mg/mLにした後希釈する。】

【備考3: 希釈後の濃度は0.72~2.70mg/mLになるように調整する。インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を用いて投与すること。】

【備考: リツキシマブBS、ポライビー投与の30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等の前投与を行うこと。
G-CSF製剤の予防投与が推奨されている。】

【備考: 6コース後は、リツキシマブ単独投与を2コース行う。】